

令和5年度 第1回文化財保護審議会 会議録

開催期日	令和5年7月14日(金) 午前10時00分～11時00分
開催場所	青少年ホーム 2階 講習室
出席状況	委員6名中6名 事務局6名
傍聴人状況	0名

主な議題	(1) 令和4年度文化財保護事業報告について
	(2) 令和5年度文化財保護事業計画について
	(3) 市指定文化財申請書の提出について

席次番号	委員氏名	摘要	席次番号	委員氏名	摘要
1	大山 宏尚	Ⓐ・欠			
2	鈴木 重臣	Ⓐ・欠			
3	滝澤 隆	Ⓐ・欠			
4	千代田 光雄	Ⓐ・欠			
5	堀内 仁之	Ⓐ・欠			
6	白石 匡子	Ⓐ・欠			
事務局	梅澤 十三男	生涯学習部長			
事務局	羽ヶ崎 紀子	生涯学習部副部長兼青少年課長			
事務局	渡辺 晴美	生涯学習課長			
事務局	佐藤 有起	生涯学習係長兼郷土資料館長			
事務局	石橋 まり	生涯学習課主事			
事務局	大東 加奈	生涯学習課主事			

会 議 名		令和5年度 第1回文化財保護審議会
議 事	事務局	1. 開会(司会進行:大東主事)
		2. 教育長あいさつ
		3. 議事
		(1) 令和4年度文化財保護事業報告について ○資料1 令和4年度文化財保護事業報告
		【質疑応答】
	委員	市史刊行事業で「葦のみち」第33号を刊行しているが、以前まで開催していた座談会は、専門的ではなく身近な話で市民の方が親しみやすいと思うため、再開して欲しい。 「葦のみち」刊行の周知方法はどのように行ったのか。 プレスリリースを行うなどあらゆる方法を使い、周知に務めて欲しい。
	事務局	座談会については、「葦のみち」第34号から再開できればと考えている。周知方法については、市ホームページやポスターにて周知を行っている。ご意見いただいたように、関係機関に情報提供を行うなど、周知に務めていきたい。
	委員	行政廃棄文書について、年間で400箱ほど廃棄されると思うが、その中の1割ほどは保管しておかなければいけない。今年はどれほどの数を収集したのか。
	事務局	今年は7箱ほど保管した。廃棄文書一覧をしっかりと精査し、適切な資料収集を行ってきたい。
	委員	広報紙や各計画書などについてはどのようにしているのか。
	事務局	広報紙などは専用のファイルを作成し、保管している。計画書等は、作成部署より2部ずつご提出いただいている。
	委員	行政資料は、今後副読本を作成する際等に必要となるため、引き続き収集を行って欲しい。
		(2) 令和5年度文化財保護事業計画について ○資料2 令和5年度文化財保護事業計画 資料4 三郷市指定文化財保存事業費補助金交付要綱
		【質疑応答】
	委員	6月始めに市内でも大雨が確認され、中川が増水し、氾濫危険情報が発表された。水の被害にあった文化財の復旧には、莫大な時間と費用がかかる。被害を最小限とするためにも、事前に対策を講じておく必要があると思う。
	事務局	防犯・防災対策の情報収集や研修等に参加し、対策を講じていきたいと思う。
	会長	三郷市の指定文化財は中川沿いに多く集中している。今後は防災の観点からも文化財保護について考えて欲しいと思う。 台風や地震が起こった際には、市から文化財所有者に対して電話で被害確認をしていると思うが、引き続き行って欲しい。
		(3) 市指定文化財申請書の提出について ○資料3 市指定文化財申請書の提出について 資料5 「三郷市仏像調査報告書」東光院木造薬師如来立像抜粋
		【質疑応答】
	委員	資料3掲載写真と昭和52年に調査を行った「三郷市仏像調査報告書」に掲載されている写真では大きく様相が異なる。どのような修理を行ったか、記録

会議名	令和5年度 第1回文化財保護審議会
	<p>や報告書はあるのか。 修理を行ったというのであれば、仏像の銘が確認できるのではないかと思います。 また、市指定文化財として10体ほどが指定されているが、年代的な分布は分かるか。</p>
委員	<p>当時社会教育課の職員として、昭和52年に行われた仏像調査に同行した。 埼玉県立博物館の学芸員であった林宏一氏に調査をお願いした。 東光院の木造薬師如来立像は、一木造であるから、江戸時代よりも古いものであるだろうとのことだった。江戸期のものは寄木造が多い。</p>
事務局	<p>東光院住職より、仏師が作成した修繕の経過写真を提出いただいた。 ただ詳細な記述がなされていないため、何をどのように修理したか等はこの記録からは分からない。 事務局としては、今後専門家による調査が必要であると考えている。</p>
会長	<p>一度文化財保護審議会委員でも現地調査を行った方が良いと考える。</p>
委員	<p>昭和52年の仏像調査では、第一次調査と第二次調査があった。第一次調査では、当時の文化財保護審議会委員や調査委員に市内全域のお寺や各家庭にある仏像の調査をしていただいた。 調査した仏像のうち6体の仏像で第二次調査が実施された。 6体の仏像のうち2体は玉蔵院の木造阿弥陀如来立像と木造地藏菩薩立像で、市指定文化財となっている。 仏像調査時に、鑑定書を出したため、東光院でそれを保管しているのではないかと。「三郷市仏像調査報告」は、この鑑定書をもとに出版した。</p>
委員	<p>昭和52年の仏像調査では、文献調査は行っていたのか。</p>
委員	<p>胎内仏などは確認した。</p>
委員	<p>東光院などの歴史的流れはどのようなのか。</p>
委員	<p>東光院のある上口は、番匠免と一緒に「彦峯村」と呼ばれていた。上口の地に渡し場があったため、「上ノ口」から「上口」という地名となった。 東光院にある茶枳尼天の台座には、「ヒコミネゴウ」「天正10年」と記されている。 彦成村の本郷は、上口・番匠免あたりではないかと考える。 以前、松戸市にある「本土寺過去帳」を拝見したところ、番匠免でも中世に戦があったことが記述されていた。 上口・番匠免は歴史的に見ても古いところであることは間違いない。</p>
委員	<p>ある程度文献的な裏付けが欲しいと思う。</p>
会長	<p>東光院への回答として期限を設けているのか。</p>
事務局	<p>慎重な審議を要するため、期限は設けていない。</p>
会長	<p>まずは専門家を探していただき、文化財保護審議会委員の現地調査の計画をお願いしたい。</p>
事務局	<p>今後会長にご協力いただきながら進めていきたい。</p>
委員	<p>審議をする際には、仏像の年代等が分かる資料を用意していただきたい。 また、東光院より提出された調査報告書を提供いただけるのであれば、お願いしたい。 市内には市指定となっていない仏像を所有・管理されている方がいる。今後指定の申請があった際の判断基準として根拠を持つておく必要があると思う。</p>

